

「ふたたび今年の漢字」

謹賀新年！

2021 年度の世相を表す「今年の漢字」が「金」と発表された。東京オリンピックの「金」メダルラッシュ、大谷翔平選手の MVP 獲得、松山選手のマスターズ優勝の「金」などで第 1 位になったのだろう。コロナの給付金も関係しているらしいが、私としては小室圭さんの「沈黙は『金』なり」も含めてほしい（笑）。

ちなみに小中学生が選ぶ「今年の漢字」もある。第 1 位は「推」で第 2 位が「恋」らしい。『推し、燃ゆ』という長編小説が芥川賞を受賞したことや、メディアで「推し活」が取り上げたことに小中学生が関心を持っている表れのようなのだ。そして、告白されたり初恋を経験したことも学生らしくてさわやかな感じがする。

さて、私の 2021 年度を漢字一文字で表すとするとしたら、ちょっと暗いが「霧」がふさわしい気がする。

2021 年もたくさんの方の不登校相談を受けた。普段は相談時間は長くて 90 分くらいだが、2 時間を超える相談も例年になく増えた。不登校克服に向けて家庭で親御さんに取り組んでほしい課題や手立ては、その方向性についてはシンプルで明確になっていることもあり、具体的にいろいろ提案はできたとは思っている。しかし、不登校克服にはもうひとつの課題が残る。それは不登校生本人が抱えるストレスからの解放である。ストレスの原因となるストレッチャーが何なのか明確にする必要があるが、その正体は本人にも親御さんにも見えていない事例が多い。暗闇の中にいるのではなく、「霧」の中でその正体がぼやけている感じである。そして、相談を終えた私も、「霧」に包まれたままの気持ちを引きづって、新たなストレスを抱えている。

ゆえに、帰り道についお酒を呑み過ぎてしまう。ちょっと計算をしてみたら、なんと焼酎の一升瓶を 1 年間で 40 数本呑んでしまっている。芋焼酎なら「三岳」「閻魔」「魔王」を呑みたいが、20 本以上は安価の霧島酒造の『黒霧島』で我慢している。

「今年の漢字」をお酒に繋いだのは、少し不謹慎な気がしないでもない（笑）。

今年もよろしくお願いたします。

（丹羽 豊）